

2021.1.5~1.7 JCMT 国内ワークショップ案内文（開催済み）

ワークショップ

「北半球で口径最大 & 焦点面装置とっても充実サブミリ波単一鏡,
JCMT を使ってみよう & 使い倒そう!!」

第 4 報として、接続先をお知らせいたします(末尾)。なお、1 月 7 日(木)は、開始時刻が異なりますので、ご注意ください。事前参加登録は不要です。多数の皆さまの参加を心よりお待ちしております。

【趣旨】波長450/850 ミクロンで数分角の視野を角度分解能 $\sim 10''$ で掃いた宇宙に興味をお持ちの方でなくとも、ジェームズ・クラーク・マクスウェル望遠鏡(JCMT)という名前は、耳にしたことがあるのではないのでしょうか。

2015 年から日本のコミュニティは、JCMT へのアクセスがあり、ユニークな研究が展開されています。そこで、ALMA/45m/ASTE ユーザーズミーティングの開催(2021 年 1 月 5-7 日の午前)にあわせ、「JCMT を使って研究しよう!!」を趣旨とする、ワークショップを企画しました。もっと知りたい方、成果をアピールしたい方、ちょっと覗いてみるだけ、どなたも大歓迎です。

【狙い】:観測者、アーカイブユーザー、興味をお持ちの研究者間の情報交換
【言語】:講演と議論は日本語(スライドは日英両語)

■ 2021 年 1 月 5 日(火) 12:45 から接続可能

座長:榎谷 玲依 (慶應義塾大学)

12:59 -- 13:00 ご挨拶 古屋 玲 (徳島大学)

13:00 -- 13:25 「東アジア天文台(EAO)による JCMT 運用について」
関口 和寛 (国立天文台)

13:25 -- 13:50 「JCMT の受信機と概要紹介」水野 いつみ (東アジア天文台)

13:50 -- 14:15 「S2COSMOS: COSMOS フィールドにおけるサブミリ波銀河探査」

松田 有一 (国立天文台)

14:15 -- 14:30 休憩

14:30 -- 14:55 「すばる x JCMT で探る宇宙大規模構造形成現場の銀河とその隠された活動性」

小山 佑世 (国立天文台)

14:55 -- 15:20 「BISTRO プロジェクト:星間磁場観測の革新」長谷川 哲夫 (国立天文台)

15:20 -- 15:45 「プランクデータによる Mon R2 領域の磁場の曲率」松村 雅文 (香川大学)

■ 2021年1月6日(水) 12:45 から接続可能

座長:小山 佑世 (国立天文台)

13:00 -- 13:25 「JCMT-VLBI 超高解像度ミリ波観測で探る超巨大ブラックホール」

秦 和弘 (国立天文台)

13:25 -- 13:50 「JCMT モニター観測で探る YSO の光度変動」相川 祐理 (東京大学)

13:50 -- 14:15 「JCMT による太陽系惑星(金星・火星)大気観測」佐川 英夫 (京都産業大学)

14:15 -- 14:40 「分子輝線観測データを用いた銀河系内天体の研究」榎谷 玲依 (慶應義塾大学)

14:40 -- 14:55 休憩

座長:大橋 永芳 (中華民国中央研究院)

14:55 -- 15:20 「L1.3 分子雲複合体の速度構造から探る銀河系中心部の運動力学的解析」

松永 健汰 (名古屋大学)

15:20 -- 15:45 「分子雲コアの磁場構造(赤外・サブミリ波観測の連携)」

神鳥 亮 (アストロバイオロジーセンター)

15:45 -- 16:15 「Hub-Filament Paradigm of Star Cluster Formation」
犬塚 修一郎 (名古屋大学)

■ 2021年1月7日(木) 13:15 から接続可能

座長:川邊 良平 (国立天文台)

13:30 -- 13:40 「1日目と2日目の内容紹介」世話人

13:40 -- 14:05 「Which part of dense cores does feed material to protostars?:

the case of L1489 IRS」大橋 永芳 (中華民国中央

研究院天文及天文物理研究所)

14:05 -- 14:30 「スペースモデリングを使ったサブミリ波分光観測の高感度化」

谷口 暁星 (名古屋大学)

14:30 -- 14:55 「LMT/B4R の初期科学成果:極高光度サブミリ波銀河の一酸化炭素輝線観測」

萩本 将都 (名古屋大学)

14:55 -- 15:05 休憩

座長:古屋 玲 (徳島大学)

15:05 -- 15:45 「次世代大口径サブミリ波望遠鏡 LST ってなに？」

田村 陽一 (名古屋大学)

15:45 -- 16:35 「スペース赤外線観測の現状, SPICA で期待した成果と今後の展望」

金田 英宏 (名古屋大学)

16:35 -- 17:00 議論 世話人
